

令和4年度

社会福祉法人仁多福社会事業報告

1. 経営理念

「献身・貢献」 「規律・秩序」 「努力・向上」 「縁・感謝」

2. 基本方針

- 多様性に対応出来る人材の育成
 - ・課題に気付き、解決に向けて自ら行動を起こす人
 - ・想定外の事象に柔軟に対処できる人
 - ・多様な価値観と共存できる人
 - ・課題解決能力の向上に努力する人
- 自己実現への相互支援
- 地域貢献
 - ・日常的な相談への対応
 - ・緊急事態下での地域への協力
 - ・地域の伝統継承など地域活動への協力
 - ・社会における課題の顕在化と解決策の提案
- 感染症対策を行いながらの事業の実施
- 「働きたい」と思われる職場づくり

3. 令和4年度の重点課題

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 生産性の向上② ハラスメントの防止と良好な人間関係の形成③ 緊急事態下での施設開放など地域への協力（性別、障害等に配慮した対応）④ 老人保健施設の今後についての検討⑤ 保育所の今後についての検討⑥ 広報機能の充実⑦ 人材不足への対応（外国人材の活用等）⑧ 感染防止策の徹底と防災意識の向上及び業務継続計画の整備 |
|--|

【仁多福社会 保育所経営理念】

- ・社会福祉法人仁多福社会の保育所は、0歳～就学前の乳幼児の最善の利益を求めるための保育（養護と教育）を行う。
- ・職員は保護者や地域社会と力を合わせ、一人一人の育ちを見つめ、支える人として豊かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

【保育理念】

- ・ 0～5歳児までの6年間を安心できる大人や友だちと一緒に過ごし、一人一人に最もふさわしい生活環境の中で、養護と教育を一体的に行うことで豊かな心を育む。そして、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。
- ・ 地域の豊かな自然と人とのふれあいの中で、ふるさと環境教育に努める。
- ・ 保護者や地域の人と一緒に「子育ての楽しさ」や「家庭教育の大切さ」を共有し、その支援に努める。

【保育目標】

「たくましい馬木の子」 ふるさと まるごと だいすき

【望ましい子どもの姿】

1) げんきな子ども

- ・ 安定した生活リズムで健康に過ごす
- ・ 馬木の自然の中で五感を通して遊ぶ
- ・ 好き嫌いせず、何でもよく食べる

2) なかよくする子ども

- ・ 人の気持ちがわかり、やさしく思いやりをもつ
- ・ 自分から進んで挨拶をする
- ・ 自分の考えを伝えたり、人の話を聞くことができる
- ・ 身近な人や自然に温かい心で接する

3) がんばる子ども

- ・ 意欲を持ち、自分で最後までやり抜こうとする
- ・ 自分のことは自分でする
- ・ くじけず命を大切にす

【保育方針】

(養護)・子どもの生命の維持や情緒の安定を図る

(教育)・子どもが健やかに成長するために、日々の活動の中に年齢的な領域の視点を持って、生涯にわたる生きる力の基礎を培う。

「知識・機能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間力」

- ・ 5領域の「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」を通して様々な体験をすることで、望まし発達を促す

「自然体験・社会体験・食体験・エコ体験」

【保育研究テーマ】

「生活を土台に“やりたい”が実現できる力を育む」

令和4年度の振り返り

令和4年度は20名でスタートし、3月21名で保育を終えた。
保育目標を「たくましい馬木の子 ふるさとまるごと大好き」と掲げ、望ましい子どもの姿「げんきな子ども」「なかよくする子ども」「がんばる子ども」の3本柱として保育を行った。

★園内研究

研究テーマ「生活を土台に“やりたい”が実現できる力を育む」とし、遊びから生活力に繋がる体・心の発達を促す。多様な生活経験を把握しながら園で過ごす時間が多い子ども達一人ひとりの意欲・興味に気づき、年齢ごとの「出来た」という実現までの過程を大切にしたい保育を目指し保育に取り組んだ。子ども達と共に生活する中で、間違いや思うようにいかない経験こそ学びのチャンスと捉え時間をかけて一人ひとりに関われるようカリキュラム会や職員会で共通認識を図った。また、“やりたい”の実現に向かっていける身体や生活体験の見直しを行った。その取り組みの一つとして、お手伝いに着目し家庭でもチャレンジしやすい内容を発達に合わせてお便り等で紹介したところ家庭での取り組みも見られたので、来年度も園と家庭が連携し生活経験の豊かさに繋がるきっかけ作りをしながら研究を継続していきたい。

★交流活動

コロナ禍の中、室内の消毒や手洗い、検温など徹底した。衛生面でも協力してもらい、保護者活動もできる限り行った。感染拡大により園内での活動も制限せざる終えず開催や変更も重なることも多々あった。保護者の方には協力してもらいながら出来る限りの活動を行った。また、地域の方との交流も例年のように出来なかったが、栽培活動を実体験できることで、心身共に健全な子ども達の育成につなげていただいていることに感謝したいと思う。今後、園児減少の現実を受け止めよりよい地域との関係を考えながら、幼小連携と共に交流の大切さを伝え継続していきたい。

★自然体験

園の特徴である園庭を流れる砂田川の整備を保護者の方にもお願いし、いつでも遊べる環境にした。川遊びから季節を感じたり、発見や挑戦そして学童も含めた異年齢交流を深めたりなど多くの学びの場となった。散歩コースも季節によってコースを選び、職員が下見をするなど地域を知ることで充実した活動が出来た。また、季節の山菜を収穫したり畑で野菜を育てたり、味わうなど食を通して四季や自然を感じられる機会も大切にした。引き続きこの素晴らしい環境を守って、みんなで楽しく学んでいきたい。

☆職員構成

職名	氏名	担当	職名	氏名	担当
所長	恩田 恵美子	経営全般	栄養士	佐々木 綾子	調理
主任保育士	赤名 伸恵	総務	調理員	藤原 由美子	調理
保育士	石郷 みはる	ばんだ・きりん組	支援員	原田 宏美	放課後児童クラブ
保育士	菅原 知美	らいおん組	支援員	戸屋 智子	放課後児童クラブ
保育士	藤原 宏貴	ひよこ・りす・うさぎ組	内科医	寺井 洋	
保育士	細木 彩音	ひよこ・りす・うさぎ組	歯科医	高松 弘道	
保育士	藤原 真理	放課後児童クラブ			

<入所の状況>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
1歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
3歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
4歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
5歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	21	248
利用 総数	376	333	393	391	384	350	411	290	386	336	317	428	4205

<延長保育利用状況>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	2	1	6	2	6	9	8	2	2	8	2	0	48

<開放保育利用状況>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

<クラス懇談・個人面談事業>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	16	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	20

<参加保育>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	5	11	8	11	23	0	0	0	17	0	9	84

令和4年度 馬木保育所事業報告

月 日	事業名	対象	内 容
4月 4日	進級式	全園児	進級のお祝いをした。
21日	しいたけの植菌体験	5歳児	嵐谷さんにお世話になり植菌体験をした。
21日	鮎の放流	3.4.5歳児	砂田川で鮎の放流を行った。
27日	子どもの日の集い	全園児	成長を願い子どもの日のお祝いをした。
5月 18日	行儀修行	5歳児	杉村先生（妙綱寺）から歌を習った。
24日	花まつり★	5歳児	妙綱寺で地域の方と花まつりを行った。
6月 11日	親子運動会★	3.4.5歳児	園庭で親子で運動会を行った。
17日	元気アップ★	4歳児	県レクリエーションより体力測定を行った。
22日	保育所交流（トトロの楽校）	4.5歳児	町内の保育所と年齢別に音楽遊び交流をした。
28日	プール開き	全園児	安全にプール遊びができる事を願った。
29日	参加保育★	0.1.2歳児	運動会ごっこを一緒に楽しんだ。
7月 7日	七夕会	全園児	七夕飾りを作り伝統行事の体験をした。
8月 27日	夏まつり★	全園児	お楽しみコーナーや屋台で祭りを体験した。
9月 2日	元気アップ	4歳児	県レクリエーションより運動遊びを行った。
9日	ぶどう狩り	2歳児以上	内田ぶどう園に行きぶどう狩り体験をした。
16日	祖父母参観日★	全園児	祖父母とミニ運動会を行った。
30日	親子遠足★	全園児	三成遊園地に出かけ親子で楽しんだ。
10月 21日	干し草ロールペインティング	5歳児	横田地区の5歳児と交流した。
28日	金言寺ウォーク★	3.4歳児	親子で金言寺まで歩き自然観察を行った。
11月 5.6日	馬木地区文化祭	全園児	作品展示を行った。
8日	しいたけの植菌体験	4歳児	嵐谷さんにお世話になり植菌体験をした。
18日	元気アップ	4歳児	県レクリエーションより運動遊びを行った。
22日	収穫祭	全園児	野菜の収穫を祝ったり地域の方に感謝を伝えた
25日	わくわくデー	5歳児	車で尾原ダム、多根自然博物館を見学した。
12月 10日	お楽しみ発表会★	全園児	表現活動をし1年の成長を発表した
22日	クリスマス会	全園児	横田ブラザーズさんよりプレゼントを頂く。
27日	もちつき会	全園児	日本の伝統行事の体験を伝えた。
28日	行儀修行・鐘つき体験	5歳児	妙綱寺で年末の鐘撞き体験をし説法を聞いた。
1月 12日	とんどさん	全園児	一年の健康を願い伝統行事の体験をした。
27日	参加保育★	3.4.5歳児	活動の取り組み披露や雪遊びを一緒に遊んだ。
2月 8日	参加保育★	0.1.2歳児	園での生活や遊びを一緒に楽しみ触れ合った。
15日	豆まき会	全園児	日本の伝統行事の体験を伝えた。
3月 6日	消防署見学	全園児	消防署へ行き庁舎や車両の見学を行った。
7日	ひなまつり会	全園児	日本の伝統行事の体験を伝えた。
8日	わくわくデー	5歳児	汽車に乗って三成遊園地に出かけ楽しんだ。
10日	安全教室	全園児	不審者対応や交通安全の指導を受けた。
23日	お別れ会・お楽しみ給食	全園児	卒園のお祝いをした。
24日	卒園式★	3.4.5歳児	卒園児親子、在園児（3.4歳児）職員で行った

【月例行事】誕生会、身体測定、避難訓練、トトロの楽校、どじょっ子教室、弁当の日

※★・・・保護者参加の事業

【食育活動】

月 日	内 容
クッキング	収穫した野菜や日々の給食の食材にふれクッキング体験を行った。
栽培活動	年間を通して地域のふるさとティーチャーさんにお世話になり畑で栽培活動を行い収穫の喜びを味わった。 じゃがいも植え(4/12) さつまいも苗植え(6/15)じゃがいも掘り(7/26)さつまいも掘り(10/12)
マナー指導	食具の使い方、指先運動や姿勢など指導を継続して行った。
教材づくり	教材を作り遊びの中で活用した。(箸の持ち方・使い方など) 3代栄養素を意識した食と健康についての壁面教材
給食当番	挨拶、配膳、食事の準備や片付けに携わることで意識の向上を図った。
給食だより発行・給食展示	食の保育活動の展示を行い保護者や地域の方に発信した。 (園玄関、馬木コミセン)
離乳食指導	個人差のある離乳食は特に家庭との連携を密にし発達に応じ個々に対応をした。
食文化の伝承	栄養士が給食メニューに旬の食材や伝統食を取り入れ、日本の食文化を伝える機会を多く取り入れた。

【小学校との連携】

月 日	事業名	内 容
5月10日	マキ田くん活動(田植え)	5歳児が全学年と地域の方と田植え体験をした。
6月28日 29日～	保小連絡会 生活チャレンジ週間(7月3日まで)	新1年生の授業を参観し情報交換を行った。 横中校区共通で生活習慣の改善に取り組んだ。
7月15日	保小交流会(ウォーターランド)	5歳児が1年生との交流会を行った。
9月26日	マキ田くん活動(稲刈り)	5歳児が全学年と地域の方と一緒に稲刈り体験をした。
10月11日 26日～	保小合同避難訓練 生活チャレンジ週間(30日まで)	地震後、保育所が火災の想定で合同で訓練を行った。 横中校区共通で生活習慣の改善に取り組んだ。
11月11日 29日	スクリーニング検査 1年生交流	小学校で行い、保護者は親学研修を行った。 5歳児が1年生との交流会を行った。
1月18日 1月25日～	保小連絡会 生活チャレンジ週間(29日まで)	入学に向け5歳児の情報交換を行った。 横中校区共通で生活習慣の改善に取り組んだ。
2月21日	保小交流・給食体験	5年生との交流活動を行い、給食を食べた。 (手洗い、トイレ、配膳、歯磨き指導)

〈小学校との月齢行事〉 ノーメディアデー(毎月10日)

【家庭との連携】

月 日	事業名	対象	内容
4月 8日	新年度保護者説明会	全保護者	入所に関する説明会を行った。
5月25～27日	クラス懇談会	全保護者	家庭や園での子どもの様子を伝え合った。
6月 5日 11日 29～7月3日	環境整備 親子運動会 生活チャレンジ週間 参加保育	全保護者 3.4.5歳児・保護者 4.5歳児 0.1.2歳児	園庭や草刈りを行った。 親子運動会を行った。 横中校区共通で生活習慣改善に取り組んだ。 親子運動会をし触れ合って楽しんだ。
7月 1日	環境整備	全保護者	園舎内の窓拭き清掃を行った。
8月 5日 27日	参加保育 夏まつり	3.4.5歳児・保護者 全園児	プール活動を一緒に行った。 盆踊りや花火を楽しんだ。
9月 3日 6日～9日 30日	環境整備 子育てトーク 親子遠足	全園児 全園児	園舎内の窓拭き清掃を行った。 家庭や園での子どもの様子を伝え合った。 三成遊園地へ行き触れ合いを楽しんだ。
10月26日～30日	生活チャレンジ週間	4.5歳児	横中校区共通で生活習慣改善に取り組んだ。
28日	金言寺ウォーク	3.4.5歳児・保護者	自然観察をしながら親子で歩いた。
2月10日	お楽しみ発表会	全園児・保護者	表現活動を通し1年の成長を発表した。
1月25～29日 27日	生活チャレンジ週間 参加保育	4.5歳児 3.4.5歳児・保護者	横中校区共通で生活習慣改善に取り組んだ。 活動の取り組みの披露や雪遊びを楽しんだ。
2月 8日	参加保育	0.1.2歳児	生活や遊びを共にし触れ合って遊んだ。
随時	子育てトーク	全園児	家庭や園での子どもの様子を伝え合った。

○ノーメディアデー

小学校と共通して毎月10日ノーメディアデーを通し家庭での過ごし方を見直すとともにメディア教育に取り組んだ。

○生活チャレンジ週間

生活習慣の見直しについて、横中校区全体で学期ごとに1週間づつ取り組んだ。また、保育所独自で家庭と子どもの頑張りを表彰するなど子どもへの意識づけを行い、習慣化するようにした。

【保健・安全】

	月日	事業名	対象	内容
健康	毎月	身体測定	全園児	身体測定を行い発達状況を把握した。
	5月24日	検尿・蟻虫検査	全園児	健康状況を把握し、必要があれば医療機関の受診を促した。
	10月 6日	聴力・視力検査	5歳児	
	6月21日 10月25日	内科健診	全園児	
	2月24日	歯科検診	全園児	
	毎日	フッ化物洗口	4.5歳児	食後にフッ化物洗口に取り組んだ。
感染症対策	毎日	健康カード記入	全園児 来園者	毎日家庭で登園前に健康状態の記入をしてもらい健康状態の把握をした。
	常時	消毒・換気の実施	園舎内、玩具等の消毒をこまめに行った。	
	通年	集会等の見直し	感染症の状況に応じ制限や会の持ち方の検討を行った。	
安全	毎月	避難訓練	全園児・職員	火災、地震などを想定して訓練を行った。
	12月13日	避難食体験	全園児	避難時に備え食事体験を行った。
	3月 6日	消防署見学	全園児・職員	庁舎・車両見学を行い防災について学んだ。
	3月10日	安全教室 (不審者・交通安全)	全園児・職員	馬木駐在所巡査に不審者対応訓練と路上指導をしてもらった。
	毎月	施設安全点検	施設内外、遊具の安全点検を行った。	

令和4年度 職員研修報告

期日	研修名	開催地	参加者
全8回	島根県放課後支援員認定資格研修	雲南	戸屋
全7回	島根県放課後支援員認定資格研修	雲南	藤原真
全2回	島根県放課後支援員認定資格研修	出雲	赤名
6月中旬	ウィッシュ発達障がい基礎講座	オンライン	原田、戸屋
R4.6/1、9/22 R5.2/22	中堅職員研修（幼児教育施設）	オンライン	菅原
R4.6/14	IS You 幼稚園保育所指導者見学会・研修	出雲	石郷
R4.8/1	食育推進研修	オンライン	佐々木
R3. 8月初旬	発達障がい児支援者研修	オンライン	原田、藤原真、戸屋
R4.8/25	就学前人権教育講座	松江	菅原
R4.9/7	主任保育士主幹保育教諭研修会	オンライン	赤名
R4.9/26～28	保育士キャリアアップ研修（幼児教育）	出雲	菅原
R4.10/3～10	食育推進研修	オンライン	佐々木、藤原由
R4.10/18～20	保育士キャリアアップ研修（保健・衛生）	松江	細木
R4.12/16～28	保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	オンライン	藤原宏
R4.12/16～28	保育士等キャリアアップ研修（保護者支援子育て支援）	オンライン	菅原
R5.1/20	保育者研修会	出雲	恩田
R5.1/23～2/6	施設長研修	オンライン	恩田
R5.2/16	緊急セミナー	オンライン	全職員

【雲南保育協議会】

期日	研修名	開催地	参加者
R4.6/22	実技研修（運動遊び）	奥出雲	藤原真
R4.10/4	保健を語る会	雲南市	石郷
R4.10/8	公開保育（阿井保育園）	奥出雲	石郷
R4.10/19	公開保育（来島保育所）	飯南	赤名
R4.11/29	公開保育（木次保育所）	雲南市	藤原宏
R4.12/2	ブロック研修・保育を語る会（人権研修）	奥出雲	菅原、細木
R4/12.6/1.11/242/20	施設長部会	雲南市	恩田
R4.4/12.8/16.2/10	保育士部会	雲南市	赤名
R4.6/17.11/18.1/20	調理担当者会	雲南市	佐々木

【仁多福祉会・奥出雲町】

期日	研修名	開催地	参加者
R4. 5/17	仁多福祉会職員研修（布勢保育所・亀嵩分園）	奥出雲	藤原真
R4. 8/19	特別支援コーディネーター連絡会	奥出雲	赤名
R4.8/23	仁多福祉会職員研修（馬木保育所）	奥出雲	菅原
R4. 9/22	仁多福祉会職員研修(八川保育所)	奥出雲	石郷
R4. 11/17	仁多福祉会職員研修(横田保育所)	奥出雲	細木
R4.11/22	仁多郡学校保健会	奥出雲	細木
R4.11/25	縄跳び講習会	奥出雲	細木

〈その他の職員研修〉

仁多福祉会職員研修会

- ・肥後功一氏・・・主体的に学びに向かう力を育む為の子どもの理解について、年齢別に保育公開を行い実際に保育をみて話し合い、指導を受け保育の質の向上につなげた。(全4回)
- ・自己評価・・・各年齢ごとに自分の保育を振り返りながら自己評価表を記録した。
- ・園内研修
 - ・島根県幼児教育センター訪問指導（中止）
指導計画の作成、様式検討について指導を受ける予定であったが度重なる感染症拡大の為、訪問指導は中止となり園内で研修を行った。
 - ・職員会・・・毎週月曜日 13：30～
行事の持ち方、日程、職員分担
カリキュラム会（クラス運営の計画、個人的配慮、意見交換）
 - ・定例会・・・毎月1回 18：30～
研修報告
オンライン研修（運動遊び、リズム運動、虐待、主体性についてなど）
日々の保育について
園内研究の取り組み経過
研究テーマ『生活を土台に“やりたい”が実現できる力を育む』とし様々な生活場面や遊び場面の中で一人ひとりのやりたいが試せる環境作りやお手伝いに着目し生活経験の積み重ねを大切に保育に取り組んだ。その過程の中で子どものつぶやきに心を寄せる「つぶやき短歌」の発信、体幹発達の為のリズム研修など職員間で共有した。

令和4年度 地域交流活動事業実施報告書

馬木保育所

<事業目的>

地域の方に先生（ふるさとティーチャー）になってもらい、年間を通して栽培活動を教えてもらおう。実際に体験することで、「生きる力」を育てたい。昔からの伝承や知恵を学び、子ども達だけでなく職員も学び、未来への人材育成にもつなげたい。
また、地域の方との交流をすることで、子ども達の元気なパワーを届け、地域からの知恵を頂く事でエネルギーの交換をしながら地域の活性化も図る。

<実施内容>

月	活動名	内容	対象・人数
4月12日	じゃがいも植え	・ふるさとティーチャーさんと一緒にじゃがいも植えをする。	4, 5歳児 (10名)
5月10日	夏野菜苗植え 花壇・プランター 花苗植え	・ふるさとティーチャーさんと一緒に野菜・花苗植えをする。	3, 4, 5歳児 (13名)
24日	花まつり	・妙綱寺に行き、花まつりに参加する。	4, 5歳児 (10名)
6月15日	さつまいも植え さといも植え	・ふるさとティーチャーさんと一緒にいも植えをする。	3, 4, 5歳児 (13名)
7月19日	じゃがいも堀り	・ふるさとティーチャーさんと一緒にじゃがいも堀りをする。	全園児 (20名)
9月22日	冬野菜苗植え	・ふるさとティーチャーさんと一緒に野菜の苗植えをする。	5歳児(8名)
10月12日	さつまいも堀り さといも堀り	・ふるさとティーチャーさんと一緒にいも堀りをする。	全園児 (21名)
28日	金言寺ウォーク	・地域の自然観察員の方に説明してもらいながら、親子で一緒に散策しながら歩く。	3, 4, 5歳児 (17名)
11月22日	収穫祭 (プレゼント配布)	・今年度お世話になったふるさとティーチャーさんに写真立てと手紙を渡す。	全園児 (21名)

〈苦情処理について〉

- ・ 苦情受付担当者 主任保育士 赤名 伸恵
- ・ 苦情解決責任者 所 長 恩田 恵美子
- ・ 第三者員 安部 純生・若槻 満

【令和4年度 苦情内容について】

苦情内容	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 金言寺ウォークの際、金言寺の大銀杏を撮影に来ていた写真グループの方に子ども達の活動の様子を撮影された。写真団体の説明や写真の使用方法についての説明もなく撮影されることに疑問を感じた。 ・ 写真の使用については個人情報の取り扱いの観点から保護者でも配慮しているので今後は考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、地元の写真家の方は撮影に来られるが今年は県外からの写真クラブの方が偶然居合わせたことで撮影者が多く時間も長くなった。その為、保護者の方が子どもと触れ合ったり写真を撮影する時間が少なくなった。保護者の方に、翌日謝罪文を出し写真団体の方にもデータの使用について連絡をしてもらうように伝えた。 ・ 金言寺関係者の方には、保護者の意向も説明し写真団体の方に子どもの撮影は遠慮してもらうようお願いをした。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の感染症や流行している病気について保護者に提供してもらっているが、新型コロナウイルス感染症については情報の提供が曖昧であった為、実際の感染人数に不安があったので情報公開をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所、町、福社会と連携をとり所内で感染者があり感染の恐れがある場合については指示に従い対応してきた。その際には保護者にメール配信を行い周知している。しかし、感染者本人が登園をしてない中での発症など感染リスクが少ない場合については個人情報の観点から情報提供をしていないこともあったので、説明し納得してもらった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童クラブの児童が宿題をしている際、うるさくて集中できなくて困っていると家庭に帰ってから話したことで母親が心配して話に来られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親の話を聞いたうえで児童からも気持ちを聞いた。落ち着いた環境で宿題に取り組めるよう職員と環境や対応の見直しを行い、児童も安心した様子で利用している。

令和4年度 まき児童クラブ報告

概要

【目的】

- ・放課後、安心して生活できるように児童の居場所づくりに努めます。
- ・自然豊かな馬木の地での出会いを大切にして、ふるさとの良さについて一緒に考え、ふるさと教育・地球にやさしい教育に努めます。
- ・家庭的な雰囲気の中で異年齢交流を楽しみながら、次世代育成につなげていきます。

【活動内容】

- ・学習（宿題、予習、復習）の習慣づけをします。
- ・お手伝いタイム（おやつや着脱の介助、絵本の読み聞かせなど）で保育士の近くで実際に子ども達と触れ合いながら、保育体験をします。
- ・自由時間では意欲的に体を動かしたり、製作して楽しみ、「自分で考える力」を育てます。

【対象児童】

- ・保護者の就労により、帰宅後の保育に欠ける1年生から3年生までの児童。
希望があれば、4年生以上も利用できます。

【利用時間】

- ・下校時から午後6時30分まで
- ・学校の休業日は午前8時から午後6時30分まで
- ・土曜日は午前8時から12時30分まで
(保護者の就労により午後6時30分まで)

【料金】

- ・1ヶ月・・・5,400円（おやつ代を含む）
但し8月は6,600円
- ・一日利用・・・500円
- ・半日利用・・・300円

【職員数】

- ・支援員 2名 補助員 1名

【利用児童数】年間利用 13名 一時利用 17名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
年間利用	201	196	236	201	161	201	191	167	176	156	157	204	2,247
一時利用	92	98	115	55	9	53	78	55	34	41	43	30	703
合計	293	294	351	256	170	254	269	222	210	197	200	234	2,950

令和4年度 年間行事報告

月	活 動	場 所	月	活 動	場 所
4月	よろしくねの会	馬木幼稚園	10月	製作あそび ハロウィン	馬木幼稚園 "
5月	誕生会 4, 5月生まれ 野菜の栽培 おやつ作り	馬木幼稚園 " "	11月	誕生会 10, 11月生まれ	馬木幼稚園 "
6月	野菜の栽培 川掃除 (砂上げ、ゴミ拾い)	馬木幼稚園 "	12月	クリスマス会 大掃除	馬木幼稚園 "
7月	誕生会 6, 7月生まれ 川遊び おやつ作り 夏野菜収穫	馬木幼稚園 " "	1月	お正月遊び 新年お集まりの会 誕生会 12月、1月生まれ	馬木幼稚園 "
8月	おやつ作り 昼食クッキング お楽しみ会・お化け屋敷 川遊び	馬木幼稚園 " " "	2月	節分	馬木幼稚園 "
9月	誕生会 (8, 9月生まれ)	馬木幼稚園	3月	ひな祭り 誕生会 2月、3月生まれ おやつ作り	馬木幼稚園 " "

